

に、環境パートナーシップ事業や岡山ESD（持続可能な開発のための教育）プロジェクト等への取り組み強化により、地域全体で効果的な環境教育や環境づくり活動を推進する。

### 灘崎地域のプラスチックごみ分別方法を統一へ

問 合併後も灘崎地域で実施されているプラスチック類の分別収集について、市内他地域では行われていないことから、制度を早期に統一する考えは。

答 市の一体性を確保する観点から、取り扱いに差がある制度について、できるだけ早い解消が必要と認識しており、「灘崎町合併特別区協議会研究班」等の議論の結果も踏まえ、平成19年度には統一したい。

### 環境美化条例の改正で路上喫煙も過料の対象へ

問 環境美化条例の罰則規定を罰金から過料へ見直すにあたり、過料の対象となる区域や禁止行為は。

答 対象区域は、人通りの多い市内中心部の中で選定したい。禁止行為については①（仮称）美化推進重点区域内の公共の場所での、吸い殻や空き缶等のポイ捨て、飼い犬等のふんの放置②喫煙制限区域内の路上での、

歩行中や自転車運行中、及び灰皿のない場所での喫煙を予定しており、平成18年度中に条例を改正したい。

### 桃太郎まつりの経済効果

問 平成18年「おかやま桃太郎まつり」の経済効果は。

答 三日間で九十五万人が来場し、うらじや踊りの参加者も初めて五千人を上回った。来場者への消費拡大策として、会場周辺の飲食店で利用できる割引クーポンを作成・配布したが、来場者アンケートから推計した一人当たりの消費額は、踊りの参加者が約四千円、一般来場者は約二千円であり、会場及び周辺商店街等では相当の経済効果があったと考えている。



うらじや踊りでまちに活気がみなぎる

### 耐震強度偽装防止に向け構造審査の専門家配置

問 平成17年に社会問題となった耐震強度偽装事件を受け、国の動きと本市の対応は。

答 国の社会資本整備審議会により、構造計算の再チェックを行う構造計算適合判定機関の設立や中間検査の実施等の答申がなされ、平成18年6月に建築基準法が改正された。また、同審議会から、構造設計適正化を図る特定構造士制度の新設や建築士試験制度の見直し等も提言されている。これらを受け本市では、職員のレベルアップを図る構造研修会を実施するとともに、11月から構造審査の専門家一名を配置する予定だ。

### カルチャーゾーン 県等と連携し魅力向上へ

問 歩いて楽しいまちにするため、カルチャーゾーンと石山公園の統一感ある整備は。

答 多くの文化施設が集積するカルチャーゾーンは、旭川の自然環境とともに観光・歴史・文化の拠点であり、県の「歩いて楽しいまちづくり計画」の下、

国、県、市民とともに積極的に魅力アップに取り組みたい。また、岡山城と後楽園の眺望場所である石山公園は市民の憩いと賑わいの場であり、県まちづくり計画策定協議会でカルチャーゾーンの魅力拠点として生かせるよう議論してもらおう。

### 児島湾干拓ゆかりの遺産 市文化財に指定へ

問 片崎樋門など旧灘崎町当時に町が指定した文化遺産を、市の文化財に指定する考えは。



干拓の歴史の生き証人、片崎樋門（灘崎地区）

答 灘崎地区は近代的な干拓を早くから実施した地として、片崎樋門など三カ所の樋門遺構が良好に残っている。現地調査と関連資料の収集を済ませており、今後、市文化財の指定に向けて具体的に取り組む。

**贈らない！求めない！受け取らない！**  
政治家は公職選挙法により、選挙区内での寄附行為等が禁止されており、お中元・お歳暮等を贈ることができません。ご理解とご協力をお願いします。

### 委員会の異動

- ◇建設委員会 (旧) 委員 楠木 忠司 (新) 委員 楠木 忠司
- ◇経済委員会 (新) 委員 楠木 忠司

### 次回本会議のお知らせ

11月定例会は11月29日(水)から12月22日(金)まで開催の予定です。

### 編集後記

9月定例会では、行財政改革の取り組みや市民病院の在り方など、市政全般にわたる重要な課題について論戦が繰り広げられました。また、議員定数等の問題については、議会運営委員会でも長期にわたり真摯な議論を重ね、一定の結論を導き出し、議長に答申しました。市議会だより第四十三号ではこれらの内容についてお伝えします。

